

Cloud Service for オフコン
からのシステム移行に係る
情報提供依頼書（RFI）

2026 年 8 月 20 日

独立行政法人北方領土問題対策協会

目次

1. 情報提供の依頼目的	3
(1) 本書の目的.....	3
(2) 背景	3
(3) 現状の課題.....	3
(4) システム移行の方針.....	4
(5) 当社の会社概要	4
(6) 現行システムの利用者情報	4
2. 情報提供の依頼内容	5
(1) 貴社の企業情報及びシステム移行の実績	5
(2) 技術的提案.....	5
(3) 概算費用及びスケジュール	5
3. 情報提供の手続き	6
(1) 調達スケジュール.....	6
(2) 提出先／お問い合わせ	6
(3) 提出期限	6
(4) 留意事項	6

1. 情報提供の依頼目的

(1) 本書の目的

クラウドサービスである「Cloud Service for オフコン」上で稼働している貸付管理システム及び名簿管理システム（以下「システム」という）について、クラウドサービス等が 2031 年 3 月末にサービスが終了となることを受け、システムを他の基盤へ移行すること計画しております。

本書（情報提供依頼書／RFI）は、システムの移行にあたり、貴社が提供可能なソリューションに関する情報の提供をお願いするものです。

(2) 背景

当協会のシステムは、「北方地域旧漁業権者等に対する特別措置に関する法律」（昭和 36 年法律第 162 号）に基づき実施される融資業務の効率化及び法対象者等の名簿管理等を行うことを目的として昭和 59 年に構築され、以降改修を重ね利用してきました。

現状は、システムをエフサステクノロジーズ株式会社が提供するクラウドサービスである「Cloud Service for オフコン」に移行しておりますが、当該クラウドサービス及び OS である「ASP」のサポートが終了する 2031 年 3 月末までにシステムを移行する必要があります。

(3) 現状の課題

No.	課題	詳細
1	ソフトウェア資産の移行	<移行対象資産> A. COBOL アプリケーション・ソース (a)業務ロジック ・本数：230 本 ・総ステップ数：約 20 万行（コメント込） (b)Copy 句 ・本数：37 本 ・総ステップ数：約 12 百行（コメント込） B. CL（制御言語）ソース ・本数：40 本 ・総ステップ数：約 22 百行（コメント込） C. データベースの数 ・物理ファイル：約 50 個 ・論理ファイル：約 100 個 ・シーケンシャルファイル：約 40 個 D. 画面定義・帳票定義の数 ・画面定義：約 200 個 ・帳票定義：約 100 個 E. 他システム連携の有無 ・あり

		※現行システム情報 A. OS ASP B. サーバ クラウドサーバー (Cloud Service for オフコン) C. データベースソフト Symfoware D. 開発言語 COBOL G
2	出力方法の制約	現行システムでは、多くのプログラムが CSV 等加工可能な状態で出力できず、データの活用方法が限定的となっております。
3	拡張性と柔軟性の制約	現行システムでは、法改正や利用者ニーズの変化に合わせてシステムを迅速に拡張することが極めて困難となっております。

(4) システム移行の方針

上記背景および課題を踏まえて、当協会ではシステム移行の方針を以下のように設定いたしました。

A. 現行システムの完全移行

- ・移行先は本書発出時点において ISMAP に登録されているクラウドサーバーとします。

B. カスタマイズ性の付与

(注) 本システムは札幌事務所で使用しているため、納品先も札幌事務所となります。

(5) 当社の会社概要

組織名	独立行政法人北方領土問題対策協会 (HP : https://www.hoppou.go.jp/)
代表者	理事長 山本 茂樹
所在地	主たる事務所 東京都台東区北上野 1 丁目 9 番 12 号住友不動産上野ビル 9 階 従たる事務所 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 2 番地 2 札幌センタービル 16 階
設立	2003 年 10 月 1 日
資本金	256,069,521 円 (2025 年 3 月 31 日時点)
職員数	35 人
事業内容	・ 国民世論の啓発事業 ・ 北方四島交流事業 ・ 調査研究事業 ・ 援護事業 ・ 融資事業
組織図	別添を参照願います。

(6) 現行システムの利用者情報

8 名 (運用管理者 1 名、利用者 5 名、組織外利用者 2 名)

2. 情報提供の依頼内容

(1) 貴社の企業情報及びシステム移行の実績

貴社の企業情報及びシステム移行の実績について、「【別紙1】RFI 回答シート」(Excel データ)に沿ってご回答をお願いいたします。

(2) 技術的提案

1. (3)に記載した課題に対するソリューションについて、「【別紙1】RFI 回答シート」(Excel データ)に沿ってご回答をお願いいたします。

(3) 概算費用及びスケジュール

A. システムの構築費用

調査・要件定義から設計・開発、テスト、移行作業等、本稼働までの作業全体にかかる費用の概算についてご提示をお願いいたします。

B. システムの保守費用

システムの年間の保守費用について、単価と工数を含めてご提示をお願いいたします。(様式は自由です)

C. システム構築に係るスケジュール

想定されるスケジュールについて、行程毎に分割しご提示をお願いいたします。

3. 情報提供の手続き

(1) 調達スケジュール

当協会では現在想定しているシステム調達スケジュールは以下の通りです。日程に不都合がございましたら、あらかじめ希望する日程をご連絡ください。

日程	内容
2026 年 08 月 20 日	RFI（本文書）公開
2026 年 08 月 20 日～2026 年 09 月 10 日	RFI に対する質問事項受付
2026 年 09 月 10 日	RFI に対する質問事項締切
2026 年 09 月 20 日	RFI に対する質問事項への回答
2026 年 09 月 30 日	RFI に対する回答締切
2028 年 06 月 10 日～2028 年 08 月 20 日	入札公告 掲出
2028 年 08 月 20 日	技術提案書締め切り
2028 年 08 月 27 日	総合評価委員会
2028 年 09 月 03 日	入札
2028 年 09 月 10 日	入札結果の通知
2028 年 09 月 15 日～2028 年 09 月 25 日	契約手続き
2028 年 10 月 01 日	移行作業開始（作業期間：2 年）
2030 年 10 月 01 日～2031 年 03 月 31 日	次期システム平行稼働
2031 年 04 月 01 日	次期システム本稼働

(2) 提出先／お問い合わせ

本 RFI に関するお問い合わせにつきましては、「【別紙 2】RFI 質問票」（Excel データ）に記載の上、以下のメールアドレス宛てにご連絡をお願いいたします。

質問事項のご提出は **2026 年 9 月 10 日 17:00** までとさせていただきます。

なお、質問の内容によってはお答えできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

独立行政法人北方領土問題対策協会

担当部署名：札幌事務所 管理グループ

担当者名：戸澤 勇真

メールアドレス：tozawa@sp.hoppou.go.jp

(3) 提出期限

回答のご提出は、**2026 年 9 月 30 日 17:00 まで**とさせていただきます。

(4) 留意事項

A. 秘密情報の守秘義務

本情報提供依頼の過程において相互に開示される秘密情報の取扱いについては、別途締結する「秘密保持契約書（NDA）」の内容に従うものとします。

B. 費用に関して

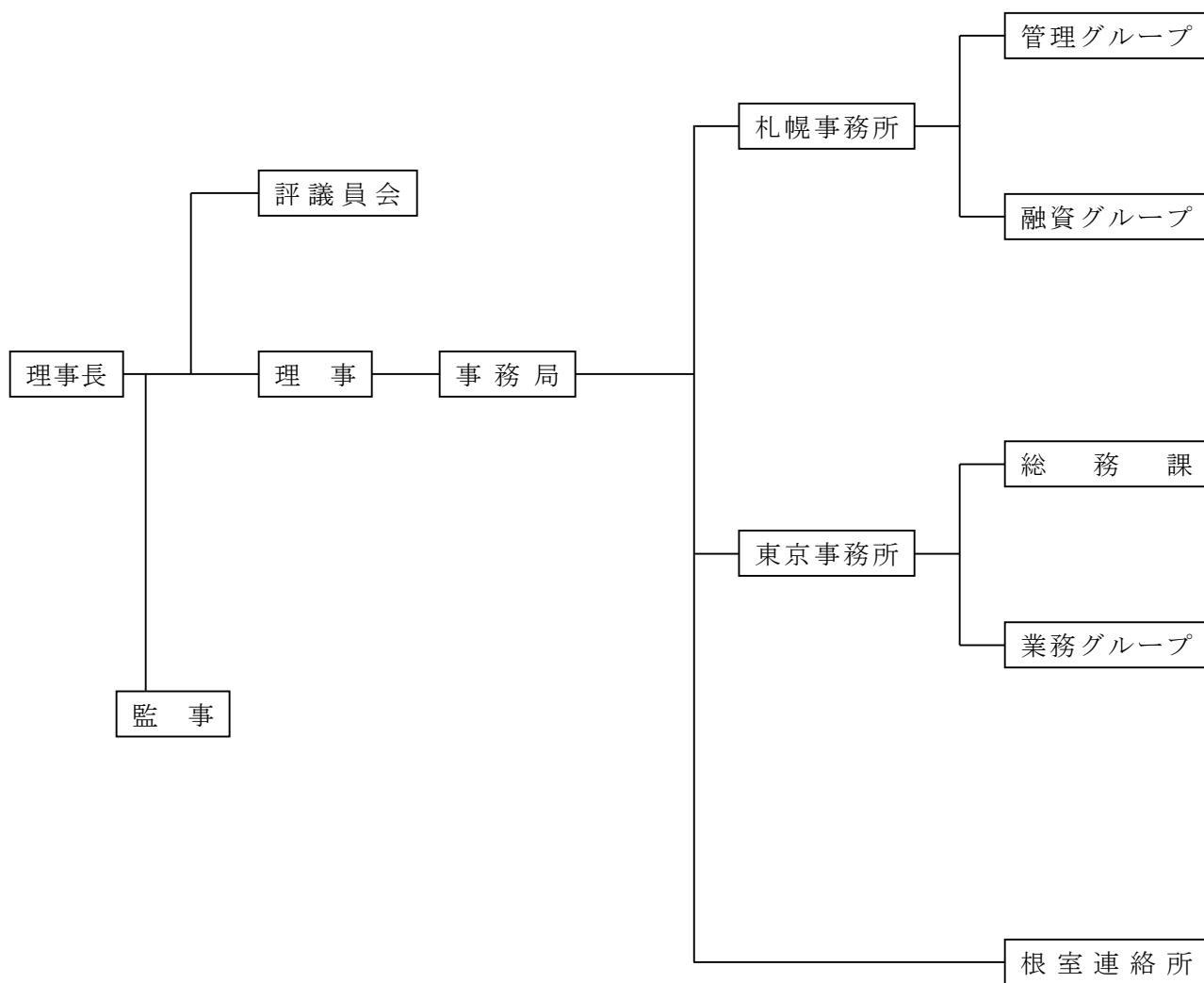
当協会では、本情報提供依頼の過程において発生する費用について一切負担いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

C. ご提供いただいた資料に関して

- 本 RFI は、当協会が提示する内容・条件にて的確な事業遂行が可能であるか、広く情報を得るための手段としたものであり、今後の調達における契約に対する意図や意味を持つものではありません。
- 本 RFI に関連して当協会から資料の提供を受けた場合は、RFI 終了後に消去していただくようお願いいたします。
- 当協会が提供した資料を削除した場合において、当協会から請求があった際は、情報を消去したことを証明する書面のご提出をお願いいたします。
- 本 RFI に対して、どのような提案をいただいた場合においても、それをもって将来の調達を約束する者ではありません。
- 本 RFI にてご提供いただいた資料等について当協会から照会または追加の資料のご提供をお願いする場合がございます。
- ご提供を受けた提案や資料等については、本調達を検討する当協会の関係者に限り複写、配付が行われます。
- ご提供いただいた資料はいかなる理由があっても返却いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ご提供いただいた資料等の内容は、今後実施予定の調達に係る仕様書に利用させていただく場合があります。

以上

独立行政法人北方領土問題対策協会 組織図



関係府省

内閣府（北方対策本部）

農林水産省（水産庁漁政部水産経営課）